



先月の山行

- ☆ 3月13日 (日) 越前かぶと 山行報告参照
 ☆ 27日 (日) 銀杏峰 山行報告参照

4月の予定

- ☆ 10日 (日) バンビライン勝山
 ★ 14日 (木) 総会
 ☆ 17日 (日) 大仏寺山
 CL

5月の予定

- ☆ 1日 (日) 鷲走ヶ岳 6時
 CL 宮本重信
 ★ 12日 (木) 例会
 ☆ 15日 (日) 鳴谷山
 CL
 ☆ 29日 (日)
 CL

遭難対策基金 1000 円

年会費 6000 円会計 (伴藤) まで

行ってみたい山募集中♡

山行申込み方法

- ・山行申込みの基本は例会時です。
(都合により例会に出席できないが、山行込みをしたい場合は、例会当日 20 時半頃、宮本の携帯 090-8260-8108 へ連絡してください。)
- ・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください。

山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

山行報告

越前甲 1319m

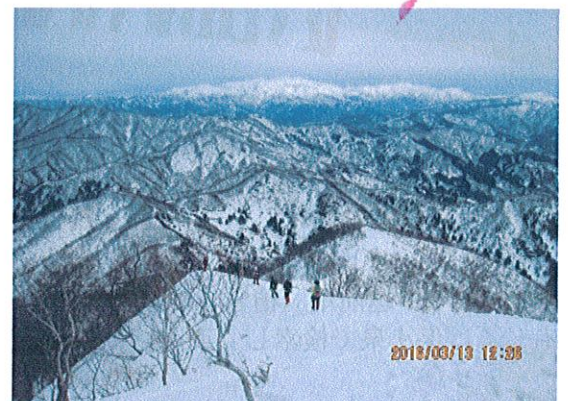
日 時 2016年3月13日 曇り空

参加者

報告者

今日は越前甲です。雪の無い国道 416 号線を進んで行く。夏場の駐車場に止めようと、急なつづら折の道路を上がって行くと、山から滲みでた水で道路が凍結している。カーブを曲がった時、車が左方向にスリップした。危うくガードレールに接触するところだった。後方にやや滑りながら回転し少し降りたところに駐車する。夏場に駐車場からはかなり離れている。そこから八反滝がよく見えた。

しばらく除雪した歩道を歩き、道路工事が中断している場所までくると、そこからはいよいよ雪道です。当然夏道ではなく、どこかわからない尾根を登り大日峠に向かう。急登の尾根をピッケルを使いながら登る。かなりの急登でピッケルを深く差し、足のつま先で雪を蹴る。凍結しているのでなかなか足場ができない。先頭の足場を頼りに登る。登りきると痩せ尾根だ。滑落の危険があるので慎重に進む。進むと今度は枝の中を進まざるを得ない。痩せ尾根のため回りこむことができない。苦労の連続だ。ようやく大日峠に着く。ここからが夏場でも越前甲の真骨頂だ！滑落に気を付けながら登る。先ほどの状態が延々と続く。ピークを過ぎると一旦平らになった。真っ白なピークに向かって進んで行くと素晴らしい絶景が広がった。荒島岳、銀杏峰、部子山が見えてきて、眼下には勝山市内が広がる。左手には真っ白な白山が迫って見える。まさに冬ならではの景色だ。夏場ではこんなには見えない。素晴らしい！



銀杏峰 1440m

日時 2016年3月27日 快晴

参加者

報告者

頂上まではもう一息だ。頂上は雪で埋もれていてどこが頂上かわからない。出発から3時間10分で登頂。ほとんど無風状態でしたので、頂上で昼食です。昼食は豚汁です。鍋一杯に野菜を入れたのはびっくりです。大丈夫かなと思ったが、丁度いい具合になっている。不思議！寒い時はやっぱり豚汁ですね。

豆餅を焼いて要る時、事件が起きました。火力が強すぎたのか豆餅が焦げている。火力を抑えるよと荒川さんが、コンロのダイヤルに手を入れた瞬間やけどをしてしまった。さらに伴藤さんの手袋が溶けていた。どうも網にアルミをひいたため、熱が網の下に溜まり高温状態になっていた。そのせいでコンロのダイヤルが溶けていた。そのまま餅を焼いていたらコンロが爆発するところだった。でも餅は十分焼けており、大変美味しく召し上がりました。

食事後は、滑落時のピッケルの使用方法の講習です。滑ってピッケルで止める方法です。ピッケルのヘッドを右手に持ち、脇を締めてピックを雪に差す。左手は右手の下、ピッケルのシャフトを持ち体重を掛けて止める。実際に滑った時、本当に実践できるか心配だ。

下山は危険なので撮影は中止です。安全な場所まで降りてから再度撮影をすることにしました。

大日峠まで降りて来た。大日峠から違うルートで降りることになった。途中沢を渡ることになり、荒川さんが先に偵察に行く。私達はしばらく沢の上で待機した。荒川さんからOKのサインが出た。雪がやわらかくなっている。足をかなり取られる。非常に歩きにくい状態が続く。どこに出るとか楽しみです。なんと雪の無い林道の境に出た。駐車場まで所要時間約2時間。

本日の走行距離 8.4Km 標高差 851mでした。(記録していました)



ビデオの URL は

<https://youtu.be/ygguSZCV-0g> です。

または、TMT 越前甲 (積雪時) 28年3月13日
もしくは保小泉で検索して下さい。



6時半ごろいつもの集合場所に到着2, 3日前までは雪がちらついていたが今日は快晴の予感すぐ宮本さんの車に乗り合わせ出発、途中で大野のVIOで小柏さんと合流して7時30分宝慶寺の登山道に到着。駐車場には誰もいない。早々と身支度をしてすぐそばの木の梯子から登山開始、いきなり急登が続く今のところ雪はないが1時間ぐらい登ると雪が現れてきた。凍み雪の上を細心の注意を払いながら悪戦苦闘！でも凍み歩きはちょっと楽しい。どうにか11時頃には頂上手前の見晴らしのいい広場に着いた。360度の青空、福井、石川の山々遠くは乗鞍岳、御嶽山まで見える(らしい・・・)呼吸を整えもうひと頑張り10分後には初めての銀杏峰山頂見参。一息ついて風を遮れそうな腰の座りのいい場所を見つけ昼食準備。本日のメインイベントは伴藤さんご自慢のカレーうどん。まっ青の空と最高の景色の中で澄んだ空気と美味しい食事。たっぷり1時間と15分もうお腹いっぱいだ。



・荒川さん宮本さんに雪山のピッケルの使い方を実践練習で伝授いざ12時半下山開始。下りはハラハラドキドキのおっかなびっくり一気に下山、駐車場には登りの半分の時間で2時には着いた。その後本日2回目のメインイベントみらくる亭に寄り道、登山のあとの温泉はなんて気持ちいいだろう・・・楽しい1日をありがとうございました。

西谷聖祐

私が取立山（2月28日）を選んだのは、昨年登らなかつたからだと思うのですが、冬以外の取立は途中で車で行けるし、そんなに登りにくい山でもないが冬の雪山になると、どうなるかと興味がありました。今回登って感じる事は、道は近道を使って登るという事で、ふもとから頂上までだから非常に疲れる。あまり雪が多いと登れないというのはなぜかわかりました。ベテランの方々にお世話になりありがとうございました。今後は体力養成のため務めて参加したいと思いますが、なにしろ登山に関係するケガが多く全部参加する事は出来ないと思う。チングルマを読んでいたらガンで腎臓まで取った人がいましたが、私も今から7年前に食道ガンの治療をし、今の所、再発はしておりません。酒タバコをやらないのはそのためです。この個人的な事を会員の皆様に知らせるのは、いいのかわかりませんが、こんな事（腎臓ガンの事。K氏）を書く人がいるのなら、私もまねをして書こうと思いました。今後も趣味として登山技術ならびに親睦の向上にむけ務めていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

「編集後記」

風、光る。

春の季語。これから日本の美しい季節が始まります。四季の移ろいや微妙な変化を表現し会員様一人ひとりが希望の光になるよう願っています。

また御一緒の時は、どうか宜しくお願い致します。



spvd9w29@ivy.ocn.ne.jp に送信ください。

畑中義和

たてつづけの受賞

荒川勝巳

美浜町の短歌コンクールにヤサで応募したところ、（ヤサとは福井弁で面白半分）美浜教育委員賞となった。一般の部応募208首の中から第3位の賞というわけである。

「励まして屏風が滝を越えてゆく妻との山行いつまで続く」とゆう歌だが、これは去年の会の山行（三十三間山）の体験を元に創作したものである。ささやかな副賞は、小さなジャムとヘシコであった。

あつてもなくても誰も大騒ぎしない、こんな賞がボクには有難い。賞というのは、とくに文学分野では、時の流れの気まぐれであるようなものである。賞を狙ってモノを書くのはスジ違いであるし賞があつたからオレは実力があると思うのはカン違いである。これを書き残せただけでも自分の人生に意味があつたと思つたら、それで十分なのである。（今回の受賞歌はそれ程のモノではない。）

「もっと早くこの会を知っていれば良かった・・・」この言葉をつい最近、山行中に新しい会員から聞いた。ボクにとっては賞を頂いたようなものである。このセリフそのままの気持ちを抱いたのはボクが21歳の時である。当時の福井勤労山岳会アシ班に入って間もなくそう思った。仲間の楽しさ、山の楽しさ」を惜しみもなく教えてくれた会であった。それからずっと入りたい人は誰にでも開かれた会であるようにささやかながらも尽くしてきたつもりだ。自分の楽しみ自分達の楽しみを先にたてるような会にだけはしてはいけないと思っている。理念だけ語ると簡単なようだが、会の運営、山行の端々までこれを貫くのはなかなか難しい。親分、子分の関係が会の中で生まれたり感情のゆき違い恋愛ざた（この頃は無い！）などのトラブルもないわけではない。これを一刀両断でスパッと切れればいいわけではない。あれこれ迷いながら会の仲間と相談しながら運営してゆくしかない。

それでも「入って良かった」と思える会になっていたのならボクにとってはその努力が報われ最高の賞を頂いたようなものである。